

# JUGLER 2・シンポジウム 4

Meet the fascinating general hospitalists!

座長：多胡 雅毅（佐賀大学医学部附属病院 総合診療部）

鋪野 紀好（千葉大学医学部附属病院 総合診療科）

企画アドバイザー：志水 太郎（獨協医科大学 総合診療医学）

SY4-01 國友耕太郎（熊本医療センター 総合診療科）

SY4-02 大高 由美（獨協医科大学 総合診療医学）

SY4-03 松井 聡介（健生病院 総合診療科）

## 座長のことば

---

「病院総合診療に興味があるけれど、周りにロールモデルになるような先生がいない」「そもそもロールモデルになるような先輩指導医ってどこにいるのか？」このような疑問は2021年で終わりにしましょう。

本学会の総会では毎度すでに定例化しつつある本セッションでは、全国各地の病院総合診療のロールモデルたる先生方にご参集いただき、それぞれの先生がこれまでどのような経歴をたどってこられたか、そして今ほどのようなことを頑張っていたらっしゃるか、そしてこれからのキャリア展望はどのようにお考えか、ということについて語っていただきます。病院総合診療の領域の医師たちは幅広いインタレストを持つことができるため、それぞれの先生方のご経験は highly heterogenous であり、それを聞き、自分自身のキャリアに投影することで、各自が病院総合診療を修めていくうえでのモチベーションに繋げることができるはず、と主催者側は考えています。今回は、国立病院機構熊本医療センターの國友耕太郎先生からアカデミックジェネラリストとしての研鑽について、獨協医科大学病院の大高由美先生から基本的診療能力と診断能力（例：身体診察、病歴、診断の考え方、診断困難症例への対処）の研鑽について、そして青森・健生病院の松井聡介先生からミドルレベルでのチームマネジメントについて、それぞれお話を頂く予定です。

本学会の主導で、いよいよ病院総合診療専門医制度が来年度よりスタートします。ご参加の皆様が夢をもって次のレベルの訓練に進まれる際に、ロールモデル、またメンターとの出会いがこのセッションを通して一つでも多く生まれることを願います。

登壇者及び演題名

1. 國友耕太郎（熊本医療センター 総合診療科）  
アカデミックジェネラリスト
2. 大高由美（獨協医科大学 総合診療医学）  
基本的診療能力と診断能力
3. 松井聡介（健生病院 総合診療科）  
ミドルレベルでのチームマネジメント

## 略歴

---

國友 耕太郎

2011年3月 自治医科大学医学部卒業  
 2011年4月 熊本赤十字病院初期臨床研修医  
 その後、自治医大として熊本県内のへき地医療に従事  
 2020年4月から現職（国立病院機構熊本医療センター総合診療科）

大高 由美

2012年 弘前大学卒業  
 2012年4月～2020年3月 津軽保健生活協同組合健生病院  
 2020年4月より現職

松井 聡介

2015年3月 大阪医科大学卒業  
 2015年4月 京都第二赤十字病院初期研修1年目  
 2016年4月 京都府立医科大学初期研修2年目  
 2017年4月 健生病院家庭医後期研修  
 2020年4月 現職